（別紙4（2））

事業所名　かたた駅前グループホーム

作成日：　令和2年　2月　13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の目標はあるがグループホームとしての在り方が、未だ職員間で共有するに至っていない。	入居者の状態や、地域の特性、職員レベルを踏まえた事業所独自の理念、方針づくりが必要。また、その理念を職員や家族へ周知し、日々のサービス提供につなげてゆく。	月々の会議、カンファレンスにて、独自の目標を計画、策定してゆく。事業所の目標や、当社の理念の説明、浸透を行い、それに基づいた、具体的な日々の目標設定を行う。	12ヶ月
2	2	地域との日常的な交流が無い。	地域での交流機会を作る。	自治会の回覧板を回してもらい、その行事に参加するなど、地域行事と連動したレクリエーションを行う。 当社の認知症カフェに参加する。（選定済）そちらの運営に、職員と利用者で積極的にかかわる。	3ヶ月
3	5	包括や支所との関係を築けていない。	介護保険関係の報告にとどまっている。	運営推進会議議事録を届けたりして、関係性を強め、顔の見える関係作りをする。	1ヶ月
4	21	比叡ユニットでは、日常的に集団レクが行われているが、比良ユニットでは、定期的な開催ができていない。	比良ユニットでも、レクリエーションが定期的に開催できる体制を組む。	毎日の日課として、レクリエーションができるように取り組む。人員配置や、業務の流れを、月々のカンファレンスで話し合う。	3ヶ月
5	23	認知症への対応について、経験数や対応数が少なく、勉強不足は否めない。	当社他グループホームへの研修や、認知症実践者研修、リーダー研修、などの受講を進める。	職員の経験数、対応数を増やし、事例知識を多く持つ事で、サービス改善を進める。カンファレンスにて、認知症への対応について、常に議論がなされるような風土を作る。	12ヶ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	24	馴染みの暮らし方や、生活環境の掘り下げが行われていない。	利用者の情報を掘り下げ、認知症の研修を進め、パーソンセンタードケアに取り組む。	利用者様の過去や背景に基づいたケアが行えるようにする。	12ヶ月
7	29	地域資源の活用ができていない。ボランティアグループ1組のみ。	外部ボランティアを誘致する。	社協などと連絡連携を取り、ボランティアを誘致する。	1ヶ月
8	30	かかりつけ医を持っているが、医療情報についての連携が不十分。	施設と協力関係の医師との連携は強いが、利用者様個人で継続して契約している個別の医師との連携が不足している。	3名ほどの個別の主治医との連携方法を考えて実践する。	2ヶ月
9	33	重度化の指針の策定、看取りの指針は作られており、今後、看取りも行う予定ではあるが、終末期における家族の移行確認が行われていない。	終末期におけるサービス提供についての家族の意向確認を行う。	終末期におけるサービス提供についての家族の意向確認を行う。	6ヶ月
10	35	年3回の避難訓練を行っているが、火災だけであり、風水害、地震に対する訓練が行われていない。	夏に懸念される風水害について、万全の準備を行う。	風水害の避難訓練を行う。備蓄物を充実させる。	6ヶ月
11	36	プライバシーに配慮し個別に対応する。声掛け、言葉遣いが正しくない事がある。	居室でのオムツ交換など、他者から見て、オムツ交換とはわからないような配慮を行う。また、その時にかぎらず、利用者様への声掛けや態度に気を付け、正しい言葉遣いを行う。	3ヵ月に1回の虐待防止委員会で取り上げ、改善をしてゆく。声掛けについては、毎月のカンファレンスで取り上げる。	3ヶ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
11	43	服薬による排便コントロールが主で、食事や運動による排便の促しが意識できていない。	定期的な運動（散歩）などをプログラムに組み込む。食物繊維など、排便を促すような食材を検討する。	カンファレンスにて検討し、計画書に運動を組み込む。また、食物繊維が多い、食事、オヤツ、を、当社提携の管理栄養士に相談しアドバイスを受ける。	1ヶ月
12	49	外出機会が少ない。利用者様も、ご家族様も、外出の機会を希望されているが、希望に答えられていない。	日々の外出機会を計画にして、取り組む。イベントだけでなく日常の外出機会を創出する。	暖かくなったら、日常的な散策に出れるよう、業務マニュアルを見直す。対象の利用者様を決め、担当を決め、週間の介護計画とする。	3ヶ月
13	52	運営推進会議にて、玄関から入った場所の照明が暗いと指摘があった。	玄関の照明を新しい物に変更する。そこから続く廊下の装飾を明るい物を検討する。	場合によっては、設備からのアプローチとして、LEDへの変更を検討する。廊下の照明は、普段から手入れし、切れている物がないようにする。	1ヶ月 （6ヶ月）

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。